

平成28年度 第2回海老名市国民健康保険運営協議会 会議結果報告書

- 日 時 : 平成29年2月22日(水) 14:00 ~ 15:00
- 会 場 : 海老名市保健相談センター 2階 視聴覚室
- 出席者 : 委 員 9名〔高橋委員、白井委員、小林(庄)委員、河野委員、
田口会長、前田副会長、中村委員、小林(充)委員、森島委員〕
事務局 5名〔橋本保健福祉部長、小澤保健福祉部次長、
澤田保健福祉部参事兼保険年金課長、
林主幹兼国保年金係長、櫻井主任主事〕
健康づくり課〔栗野保健福祉部参事兼保健担当課長、
齋田主任保健師〕

【概 要】

1 開 会

2 あいさつ

【部長あいさつ】

- 平成30年度の国民健康保険(以下 国保)制度大改革を控え、現在の海老名市国保運営状況等の説明や、制度改革に向けた国の状況などの情報提供を予定している。
- また、6月に策定したデータヘルス計画についても、現在の進捗状況を説明できればと思っている。
- 制度改革に関しては、現在、国や県からの情報をもとに、県域による会議等を重ね、本市としても今後の財政運営の分析や事務の標準化に向けて、調整・準備を行っている。
- 今は、国保運営にとって重大な過渡期にあり、この時期にしっかりと準備することが重要と考えている。
- 今後の国保事業の適正な運営に資するよう万全な準備を進めていくので、委員の皆様のご協力をお願いしたい。

【会長あいさつ】

- 今年度2回目の会議となるが、2年の任期で最後の会議となる。制度改革を

控え、非常に難しい時期の2年であった。

○本日の議題は海老名市の国保運営状況の報告や、現在進められている国保制度改革に伴う準備状況等についての説明、データヘルス計画の進捗状況についても報告が予定されている。

○平成30年度に予定されている国保財政の運営主体を都道府県化するという、重大な制度改革を控え、海老名市の国保の現状を再確認し、国の状況を把握しておくことは、今後の大きな改革に備えるためにも重要である。

○これからの国保運営を考えるうえで、この会は貴重な機会と考えている。本日も皆様のご意見とご協力をお願いしたい。

————— 部長退席 —————

※傍聴人なし※

3 議題（議事進行：田口会長）

（1）海老名市国民健康保険の運営状況について

⇒【議題1 資料1】に基づき、事務局：澤田参事より説明。

【質疑等】なし

（2）国保制度改革の状況等について

⇒【議題2 資料2】に基づき、事務局：澤田参事より説明。

【質疑等】（・質疑 ⇒ 応答）

・現在の海老名市の保険税は県下でどの程度か。制度改革により保険税の増額につながるのか。

⇒海老名の所得水準は県下で高いほうであるが、所得割の税率は他に比べると低い。一般会計からの繰入金が多く、33市町村の中で7～8番目くらいである。現在、保険税は低い水準にあるが、平成30年度の制度改革に向けて検討が必要になると思われる。

・県内市町村の保険税は同じになるのか。

⇒国では将来的に統一を目指したい考えを示しており、県では今のところ標準的な税率を示すが、あくまで目安と考えている。

・横浜市、川崎市の政令指定都市が入ると影響があるのか。

⇒横浜市、川崎市の2市で県下の被保険者数の半数以上を占める。県において、横浜市、川崎市を含め、その他の31市町村と準備会議等を通じて、調整を図っている。

(3) データヘルス計画進捗状況等

⇒【議題3 資料3、資料3（参考）】に基づき、事務局：澤田参事、齋田主任保健師より説明。

【質疑等】（・質疑 ⇒ 応答）

- ・1月に受診勧奨のハガキが届き、特定健診を受診しなければと思った。受診勧奨のハガキが意識づけになっていると思う。
- ・誕生日月に受診勧奨してみてもは。
- ・3月末データはいつでるか。区切りのいい時期、年度か年区切りの方が比較しやすいと思う。

⇒3月末データは6月にでる。区切りについては、今後の課題とさせていただく。

(4) その他

平成29年度、平成30年度は制度改革に伴う条例・規則の改正や、保険税の検討等、本協議会に諮る案件も多くなると思うが、今後ともご理解とご協力をお願いしたい（事務局）。

4 閉会

【副会長あいさつ】

○委員としての任期は2年で節目となるが、制度改革後も国保は国民皆保険の基盤として重要な制度であり、この運営協議会の役割はさらに重要なものとなる。今後とも、国や社会の動きを注視し良好な国保運営を進めると同時に、制度改革への対応も円滑に進められることを期待したい。